



いわみ

議会だより



12月定例会

- 2 新年のごあいさつ、主な議案の概要と質疑
- 4 請願などの結果・賛否の状況
- 5 常任委員会行政事務調査報告
- 7 議会活動の在り方検討委員会が活動を開始
- 8 7議員が町政を質す
- 16 「^{はたち}二十歳のつどい」実行委員に聞きました

マスクはずして
三十歳のえがお



出産・子育てに伴走型支援 妊娠時、出産時に5万円支給

12月定例会

12月定例会を、12月13日から15日まで、3日間の会期で開きました。
 一般会計補正予算など、追加1議案を含む11議案を、原案どおり可決・同意しました。



ブックスタートではじめての絵本（岩美すこやかセンター）

主な議案の概要・質疑

一般会計補正予算

7416万円を増額して、予算総額を70億5405万円とした。

歳出の主なもの

出産・子育て応援交付金事業

819万円

国は、0歳から2歳の低年齢期に焦点を当て、妊娠期から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援の充実を図るとともに、経済的支援を一体として実施する事業を創設。継続的に実施することを決定した。

町も全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、交付金事業を実施する。

JR利用促進事業

100万円

町民や観光客などにJRを利用する動機付けを行い、将来的な定期利用につなげることを目的に促進事業を実施する。

JR山陰線に乗りし、

町内の区間で撮影した車窓写真をインスタグラムに投稿していただくと、抽選で賞品を贈呈する。

道の駅消防用設備改修事業

1100万円

道の駅に設置してある消防用設備のラジエーターの腐食、水漏れなどの不備が確認された。

修繕用の部品の一部は製造中止であり、今後の修繕に対応できないため設備を更新する。

大岩保育所などの空調設備改修事業

191万円

経年劣化による故障などで正常に運転できていない大岩保育所及び大岩交流センターの空調設備を効率的に更新するため、保育室系統の改修工事設計を行う。

町営住宅解体撤去事業

110万円

昭和26年に建築された網代団地を解体撤去するための設計委託料。

新年のごあいさつ

議長 足立 義明



新年明けまして
おめでとうござい
ます。

町民の皆様にお
かれましては、健
康で希望に満ちた令和5年の初春を晴れ
やかに迎えのことと心からお慶び申
上げます。

また、日頃より町政はもとより議会活
動に對しまして、多大なるご支援とご協
力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年7月の選挙におきまして、無投票
とはなりましたが、町民の皆様から力強
いご支援と温かいご厚情を頂いた12人の
議員で新たな岩美町議会がスタートしま
した。

私は指名のご推選をいただき、満場一
致をもって議長に再任いたしました。新
年を迎え、改めてその責任の重みを痛感
するとともに、町民の皆様の声を真摯に
受け止め、「みんなが笑顔で住み続けた
くなるまち 岩美町」の実現をめざし邁
進する決意を新たにしているところでご
ざいます。

本年は、山陰近畿自動車道のうち岩美
道路の浦富IC（インターチェンジ）か

ら東浜ICが開通予定で、全域整備後は
広域的な循環ネットワーク形成と地域の
交流・連携の促進、災害時の物資輸送ル
ートの強化による安全・安心の向上など、
重要な役割を担うこととなります。

また、田村虎蔵生誕150周年、山陰
海岸国立公園が指定から60周年、アニメ
「Free!」が10周年を迎える年とな
ります。

これらの大きな節目は、記念や伝承だ
けでなく、町の認知度向上、経済の波及
効果など、町内の活性化に良い機会とな
ります。

議会といたしましても、町民の皆様の
声に常に耳を傾けながら、常任委員会を
中心に調査研究や審議を進め、町執行部
と切磋琢磨しながら個性豊かで活力に満
ちた岩美町の実現に向けて、引き続き邁
進してまいります。

町民の皆様には、議会に一層の関心を
お持ちいただき、ご指導・ご鞭撻をいただ
きますようお願いいたします。

本年が岩美町、そして町民の皆様にと
りまして、笑顔あふれる「飛躍」の年と
なりますことをご祈念申し上げます、新年の
ごあいさつといたします。

条例改正など

国民健康保険税条例の一 部改正

現在、町では応能原則
に基づく所得割・資産割
と応益原則に基づく均等
割・平等割による、4方
式での課税方式を採用し
ている。

その内、資産割は固定
資産の多寡によって担税
力を捉える制度である
が、昨今の社会情勢に必
ずしもそぐわなくなつて
おり、全国的に資産割を
廃止した3方式へ移行し
てきている。

以上のような状況をふ
まえ資産割を廃止し、5
年5月から課税方式を3
方式とする。

電気自動車用急速充電器 の設置及び管理に関する 条例の設定

脱炭素社会を目指すた
め、電気自動車用急速充
電器の更新工事を進めて
いる。

適正な管理運営を行う
ため、設置管理条例を設
定する。

年間を通して常時利用
可能であるが、1回当た

り30分を上限とし、有料
とする。

いじめ問題調査委員会及 びいじめ問題検証委員会 条例の設定

いじめ防止対策推進法
の規定に基づき、いじめ
の重大事態が発生した場
合には、速やかに事実関
係を明確にするための調
査を行うことができるよ
う、調査委員会、検証委
員会を設置する。

町職員の定年引上げなど に伴う関係条例の整備に 関する条例の設定

地方公務員法の一部改
正による地方公務員の定
年年齢の段階的な引き上
げや、管理職として勤務
する上限年齢を定める役
職定年制度が導入される
ことから必要な措置を講
ずる。

請 願 ・ 陳 情 審 査 結 果

件 名	結 果	賛否の状況	不採択の理由
子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書の提出を求める陳情書 提出者：鳥取の保育を考える会 会長 石井 由加利	採択	全員一致	—

12月定例会の審議結果と賛否の状況

【全員一致で可決、承認、同意した議案】

議 案		議 案	
補正予算	一般会計補正予算（第8号）	条例改正	職員の定年引上げなどに伴う関係条例の整備に関する条例の設定
	代替バス運送事業特別会計補正予算（第1号）		国民健康保険税条例の一部改正
	国民健康保険特別会計補正予算（第4号）		いじめ問題調査委員会及びいじめ問題検証委員会条例の設定
	集落排水処理事業特別会計補正予算（第1号）		電気自動車用急速充電器の設置及び管理に関する条例の設定
	公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）		子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書提出
	介護保険特別会計補正予算（第4号）	議員発議	総務教育、産業福祉常任委員会の所管事務調査
人事	教育委員会委員の任命同意		

11月臨時会の審議結果と賛否の状況

【全員一致で可決、承認、同意した議案】

議 案		議 案	
補正予算	一般会計補正予算（第6号）専決処分	条例改正	特別職の職員の給与に関する条例の一部改正
	一般会計補正予算（第7号）		職員の給与に関する条例の一部改正
	国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	議員発議	町議会の議員の議員報酬及び費用弁償などに関する条例の一部改正
	公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）		
	介護保険特別会計補正予算（第3号）		

11月30日臨時会

一般会計補正予算

職員の給与に関する条例の一部改正などに伴い人件費を113万円増額して、予算総額を69億7989万円としました。

条例改正

特別職の職員の給与に関する条例の一部改正
 職員の給与に関する条例の一部改正
 町議会の議員の議員報酬及び費用弁償などに関する条例の一部改正

町議会の議員の議員報酬及び費用弁償などに関する条例の一部改正

人事院勧告に沿って、町の一般職員の給与（平均改定率0.3%）、勤労手当（0.1月分）を引き上げるほか、国の特別職に準じて町の特別職及び議員の期末手当も0・05月分引き上げる関連条例3議案を全て全員一致で可決しました。

人 事

（敬称略）

教育委員会委員の任命に同意しました。
 任期は、令和4年12月26日から4年間です。

米村 裕子（浦富）

【お詫びと訂正】

議会だよりの前号（153号）の12ページの掲載記事に誤りがありました。市民の皆様並びに関係各位にご迷惑をお掛けしましたことをお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

■12ページ 1年生 感想文の2人目のご氏名

(正) 1ねん
 やまもと あさひ 様
 (誤) 1ねん
 やまもと みお 様

総務教育常任委員会行政事務調査

調査先

内閣府ほか関係省庁
(衆議院第二議員会館)

調査日

4年11月1日

「移住・定住・少子化対策について」

調査の目的

本町は依然として若年層の転出超過や、出生数の減少が続いており、地域コミュニティ活動の担い手不足、地域経済の規模縮小や就労の場が失われることなどが懸念される。

子育ての希望が叶い、安心して住み続けられる町を目指し「移住・定住・少子化」について調査・研究を行った。

調査の概要

デジタル実装を通じて、人口減少・少子高齢化などの社会課題解決へ取り組む「デジタル田園都市国家構想」と「希望出生率1.8」の実現に向けた「少子化社会対策大綱」の国

の方針と施策について説明を受けた。

まとめ

未婚者への意識調査によると、結婚の希望はあるが、叶っていないことが分かる。

背景として、人口減少・高齢化を通じて、労働供給の減少、経済成長率の低下、地域・社会の担い手の減少、現役世代の負担の増加、行政サービスの水準の低下などが挙げられる。

しかし、近年コロナ禍において、地方移住への関心を持つ層は増えており、今が移住推進の機会といえる。

新たな日常への対応を進めつつ、恵まれた自然環境や人々の絆の強さなど、本町の魅力をしっかり発信していくことや隣接する地域との連携を図り、地方移住支援窓口機能強化事業を使いながら、良い情報を的確に移住希望者へ伝えることが重要だ。



地方創生をテーマに3つの項目を調査（衆議院第二議員会館）

「観光振興について」

調査の目的

人口減少が続く本町にとって、観光は成長戦略の柱であり、地域活性化の切り札である。

コロナ禍により疲弊した経済を回復し、再び成長させ「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりを目指し、また本年ジョパーク再認定の年であることも含め、調査・研究をした。

調査の概要

アフターコロナにおける観光政策とジョパークを生かした観光振興の国の方針と施策について説明を受けた。

まとめ

インバウンドを含め、旅行者が何を求めて本町に来ているのか、相手の立場に立つことは重要だ。コロナ禍により、近年、旅行者の視点やニーズも変わってきている。さらなる調査・研究が必要だ。また、本町のテーマとストーリー（歴史・文化）を決め、それを専門家や

職員を派遣する補助金で、管理運営体制の構築を支援する広域利用推進支援もある。（ただ補助金を渡すのではなく、専門家等が本町に入って伴奏型で支援する）

本町の特性も生かして、次の観光の目玉になるのではないかと。そのようなプロジェクトの検討も必要だ。

山陰海岸ジョパーク魅力発信力のアップ、関係機関との連携の在り方を、益々研究・探求していきたい。

その他の調査

「地方創生SDGs」

調査先

内閣府ほか関係省庁
(衆議院第一議員会館)

調査日

4年11月2日

産業福祉常任委員会行政事務調査

調査先
京都府聴覚言語障害セ
ンター（京都府城陽市）

調査日
4年11月1日

調査の目的

現在、町が行っている難聴者への支援は、国の制度をもとにした施策にとどまり、難聴者に対する支援が行き届いているとは言えない状況である。耳の聞こえづらさを感じている高齢者は、他者とのコミュニケーションが取りづらくなり、その結果、他人との接触を拒むことになり、孤立してしまい認知症などのリスクが高まることが予想される。

難聴者に対する支援策を推進し健康寿命の増進を図るため、先進的な事例の調査、研究を行った。

調査の概要

「難聴者を対象とした支援に関する調査報告書」を発行した京都府中

途失聴・難聴者協会長の岡本氏と立命館大学の柴田非常勤講師に調査報告書にもとづいてレクチャーを受けるとともに、聞こえづらさを感じているながらも支援が行き届かない方々への支援の仕組みについて調査した。

まとめ

全国の難聴者は約1356万人で人口の11・3%と推測されている。そのうち補聴器を利用しているのは192万人で難聴者全体の14・2%である。

これを町に置き換えると、1200人程度の難聴者がおり、そのうち補聴器を利用されている方は170人程度となる。

耳の聞こえに困難を感じている方が多くいる状況であるが、補聴器購入助成などの公的支援を受けられるのは聴覚障害2級から6級の身障者手帳が交付された方に限られるため、支援が行き届いていないのが現状である。



聞こえにくさを感じてから適切な支援に出会うことなく、他人との接触を拒み、孤立してしまうと、認知症などのリスクが高まることが予想される。

難聴者の主体性や自立を促進させる。老人クラブなどと連携してそのような場を作ることも一つの支援だと考える。

調査の目的

3年度末で神谷清掃工場が閉鎖となり、鳥取市にできた新可燃物処理施設「リンピアいなば」が稼働したが、捕獲有害鳥獣の持ち込みができなくなった。

3年に実施した猟友会会員を対象としたアンケート調査によれば、多くの会員が埋設処理をしていることが分かる。

また、半数以上の方が処理に困っており、処理施設を望む声も大変多い。鳥取市に4年4月に減容化施設が開設されたところだが、アンケート調査で最も多かった焼却処理施設の調査を行う。

調査概要

町で行なった猟友会会員へのアンケート結果をふまえ、町における処理施設の在り方を調査した。

まとめ

町の有害鳥獣の捕獲頭数は、毎年右肩上がりが増え、特にイノシシ、シカの捕獲頭数の増加は顕著である。

「リンピアいなば」では捕獲鳥獣の持ち込みができないので、これまで以上に処理に困る方が増えていくことが予想される。

町においては有害鳥獣による被害も年々多くなるとともに、狩猟者の高齢化、農業従事者の鳥獣被害による耕作意欲低下などの課題も多く、有害鳥獣処理施設の検討も含め、捕獲体制を一層強化する必要がある。

中丹地域有害鳥獣処理施設が焼却処理を選択したのは減容化施設と比較した結果であるが、町の捕獲頭数実績、財政事情などを含め、さらなる調査、研究が必要だと考える。

農業従事者や捕獲従事者と連携し、本町に最適な有害鳥獣処理の在り方を検討していきたい。

要約筆記を介して、難聴者から支援策を調査（京都府聴覚言語障害センター）

調査先
中丹地域有害鳥獣処理施設（京都府福知山市）

調査日
4年11月2日

挑戦!! 住民参加と 行政監視・政策提言力

議会活動の在り方検討特別委員会は12月15日、第1回委員会を開き、今後の活動方向を議論しました。

前期議会の活動の到達

昨年6月議会の特別委員会報告は、前期議会の活動状況を①議会の公開、②議員力の向上、③住民参加、④行政監視と政策提起の4つのくくりで整理し、次のように述べています。

「議会の公開と議員力の向上の課題においては一定の成果に実ったと判断できます。なお、検討

が中途にとどまっている課題、未着手のままの課題もあります。特に、住民参加と行政監視、政策提起は、住民自治の担い手である町民との協働の前進と議会本来の役割の一層の発揮という時代が求めている課題であり、次期議会において挑戦を続けることが必要だと考えます。」

住民参加、行政監視・政策提言に挑戦を提起

特別委員会は、次の問題提起について議論。議会の公開と議員力の向上の課題は一定の成果と前進をみたが、引き続き前に進める。住民参加の課題は緒についた状況であり、行政監視・政策提言力の課題は未着手である。住民参加と行政監視・政策提言が機能する仕組みづくりに挑戦しよう。

- ① 「議員問討議」の促進・活用、
- ② 「政策立案力」「政策提言力」の向上、
- ③ 市民参加としての「市民フリースピーチ制度」。



一般質問の役割を学ぶ (令和3年12月8日)



質問通告を素材に意見交換 (令和4年5月18日)

犬山市議会の実践を学ぶ

まず学び、我々に何ができるかを検討していこう。

議論の末に、当面、犬山市議会の実践を学ぶことになりました。

学びの先に見ているのは、議論できる議会、行政監視と政策立案・提言力という本来の議会としての機能が発揮できる岩美町議会です。

私たちは、挑戦します。

一般質問

7議員が^{ただ}町政を質す

一般質問は、議員が自らの調査・研究、住民の声にもとづき、町執行部の方針を質すものです。

結果として「現行の政策変更」や「新規政策を採用」させるなどの効果があります。

【質問のルール】

事前に質問要旨を通告し、議長の許可を得て質問します。

質問時間は1人30分以内（答弁の時間を除く）で、一問一答方式で何度でも質問できます。

12月定例会の一般質問(登壇順)

質問議員	ページ	質問事項（通告書のまま）
橋本 恒	9	1 マイナンバーカードの交付率向上のために 2 高等学校生徒通学費補助金の運用は適切か
宮本 純一	10	1 リモートセンシング技術を用いた地籍調査の実施を
川口 耕司	11	1 農業者に対する経費高騰対策について 2 災害時における備蓄品の充実について
吉田 保雄	12	1 支援を必要とする児童・生徒の対応について 2 通学スクールバス登下校時の有効活用方法について 3 災害時などの住民の給水について
森田 洋子	13	1 多様な障がいに対する意思疎通支援の充実を 2 子どもの幸せ最優先社会の実現を
升井 祐子	14	1 子供へのワクチン接種は、慎重に 2 子供のマスクを外せる環境の構築を
田中 克美	15	1 物価高騰から暮らしを守ることに 2 因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏および第2期ビジョン（たたき台）について

- ・議会だよりでは、内容を1議員1ページに要約しています。議会ホームページでは、動画をご覧いただけます。
- ・会議録は、3月頃から議会事務局や議会ホームページでご覧いただけます。
- ・ページ左下のQRコードから各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

マイナンバーカードのメリットはなにか

橋本 恒議員

町民の利便性向上と行政の事務手続の効率化だ

長戸町長



橋本恒議員

は9.3ポイントのアップで、交付率は劇的に上がっているわけではない。メリット、デメリット、リスクの理解が必要だ。マイナンバーカードを持つメリットはなにか。

町長 住民票など証明書のコンビニ交付。

橋本 国はマイナンバーカードの交付率によって地方交付税の配分などを決めるとの報道があるが、そのような方針は示されているのか。

町長 行政への各種申請でマイナンバーカード提示により住民票などの添付が省略できる。

橋本 10月末の国と本町のマイナンバーカード交付率は。

機関の税、年金、予防接種などの個人情報確認ができる。子育てや介護などの行政手続きがオンラインでできるなど、町民の利便性が向上する。

松本 住民生活課長 国が51.1%、本町は55.7%だ。

橋本 行政のメリットはなにか。

町長 証明書のコンビニ

交付による窓口の混雑緩和や、各種申請での添付資料の省略など、事務手続の効率化が図られる。

窓口の混雑緩和により、新型コロナウイルス感染症の感染防止効果もある。

橋本 マイナ保険証のメリットはなにか。

町長 医療機関や薬局の記録を同意により確認でき、よりよい医療が受けられる。

転居や転職をしても、最新の情報が医療機関に提示される。

限度額認定証の提出を求めなくても、同意により限度額の確認を行い、窓口支払い時に高額療養費制度の限度額を適用できる。

確定申告の医療費控除が、マイナンバーカードのデータを使ってできる。

橋本 岩美病院など医療機関として、マイナ保険証が普及するメリットはなにか。

杉本 岩美病院事務長 医療保険の資格確認が



健康保険証のかわりにマイナンバーカードで受付(岩美病院)

円滑に行える。

他の医療機関や特定健診などのデータに基づいた診療ができたり、限度額認定証を求めなくても、限度額を確認し、高額療養費制度の限度額を適用できるのは、医療機関にもメリットだ。

橋本 メリットが、デメリット、リスクを上回ると思われないと、マイナンバーカードの本格的な普及はないと考える。

マイナンバーカードのデメリット、リスクはあるか。

町長 マイナンバーカード埋め込みのICチップに、税や医療などのプライバシーに関する情報が記録されていない。

暗証番号を一定回数間違えると、カードのロックがかかるなどセキュリティがある。

あとは、運用面でヒューマンエラーをなくしていくことが重要だ。

マイナンバーで個人情報のやり取りが確認できるので、自分の情報がどういった形で利用されているのか、ぜひ確認してほしい。

橋本 取得率の低い、子どもや高齢者、働き盛りの層にターゲットを絞った対策が必要ではないか。

町長 どの階層の普及率が低いのか分析し、そこをターゲットに取り組むことは非常に重要だ。

現在、老人クラブや自治会、町内の事業所に向いている。

働き盛りの方には月末日曜日、役場に窓口を開設して申請受付し、また週2回のフレックスタイムにも申請を受付けている。

メリット、デメリットをよく承知のうえ、早めの申請をお願いしたい。

その他の質問

高等学校生徒通学費補助金の運用は適切か



(このQRコードから動画をご覧いただけます。)

リモートセンシング技術で地籍調査に取り組まないか 宮本 純一議員

先進市町の事例を参考に取組む 長戸町長



宮本純一議員

宮本 平成13年度より地籍調査事業が開始された。着手して20数年たった現在の進捗状況と今後の事業計画はどうか。

町長 本年度末の進捗は町の面積の25%が完了する見込みだ。

今後は、集落周りが終われば山林などに地籍調査を行う予定だ。

宮本 この事業に、森林環境譲与税が活用できる。森林環境譲与税の交付額と活用実績はどうか。

町長 元年から3年間の合計は1758万円だ。4年度から今後3年間

で3040万円交付される見込みだ。

3年度末の基金残高は1475万円だ。

町が行う森林経営管理制度の運用による森林整備や町営住宅建設での木材利用など森林環境譲与税の目的に合った形で活用を考えている。

宮本 山林関係では、森林境界明確化事業がある。

山林の地籍調査を行うには、この事業に取り組む必要があるのだが、現時点では町では森林境界明確化事業を行っていない。

また、この事業に、森林環境譲与税を活用するのであれば、森林環境譲与税は決算承認後に町ホームページで公開しなければならぬ。

今後、使用する予定であれば記載が必要となる

がどうか。

町長 森林環境譲与税の使途の公表内容に基金の目的に記載し活用をしたと考えている。

宮本 30年に実施された国交省の「リモートセンシング技術を活用した地籍調査を行わない理由は何か」というアンケートにどう答えたか。

鈴木税務課長 当時、航空測量データがなかったため、活用できる空中写真や衛星画像が関係部局なども含め存在しないためということ、新たな手法についてはノウハウがなく、先行事例を勉強する必要があったためという2つの理由で実施できないということをお答えした。

込んでいた山林がリモートセンシング技術を用いて2年で完了したと聞いている。
森林境界明確化事業、地籍調査にリモートセンシング技術を用いて取り組まないか。

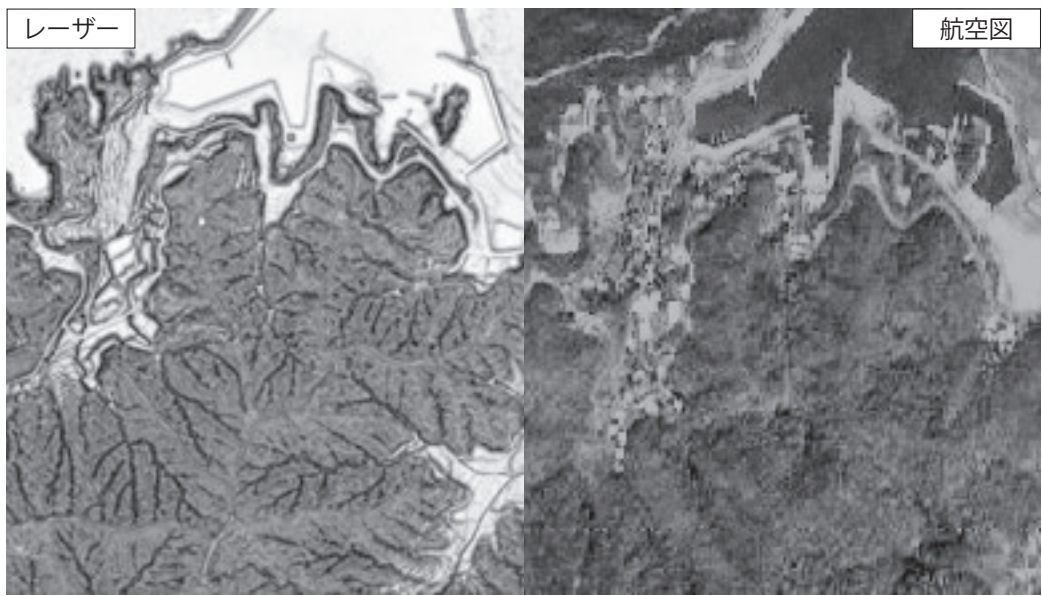
宮本 当時はこのような技術が無かった中での回答だったが、現在、他の市町では、リモートセンシング技術を使ってレーザー測量したデータを活用し森林境界明確化事業に取り組んでいる。
本町にデータはあるか。

町長 航空機でのレーザー測量データを用いて森林の所有者の土地境界を確定していくために、先進市町の事例も参考に取組みたい。

「リモートセンシング技術」とは

○航空機などを使用して、地表面の観測をする技術。

- ・ 航空機による空中写真測量
- ・ 航空機による航空レーザー測量
- ・ 衛星写真測量（高精度衛星画像）



航空レーザー計測した田後地区の地形図（左）

宮本 東部地域では、このデータを用いて鳥取市八頭町が取り組んでいる。八頭町では従来のやり方での地籍調査を行った場合には5年かかると見



(このQRコードから動画をご覧いただけます。)

農業者に対する肥料高騰対策を

川口 耕司議員

できる限りの支援を行いたい

長戸町長



川口耕司議員

川口 国は、海外の原料に依存している化学肥料の低減や堆肥などの国内資源の活用を進めるための取り組みを行う農業者に対して、原料コストの上昇分の一部を支援する肥料価格高騰対策事業に取り組まれているが、この事業について本町での取り組みと今後の周知方法はどのように考えているか。

町長 12月に町農業再生協議会の臨時総会を開催し、肥料価格高騰対策に対する事業実施の承認をいただき、1月初旬に農事実行組合長会議を開催し、支援内容や手続きに

ついでお知らせをしたい。申請については、役場



価格高騰が続く肥料（JA鳥取いなば岩美支店）

とJA岩美支店で受付と相談窓口を設ける予定にしている。

申請期限を2月末とし、3月末には支援に対する支払いが完了するスケジュールで取り組んでいきたい。

川口 この事業の対象となる肥料は何か。

飯野産業建設課長 4年6月から5年2月末までに購入された肥料となる。申請には、注文票など時期のわかるものに加え、請求書または領収書など、支払義務が発生していることが確認できるものが必要である。

川口 肥料だけではなく、農業も対象となると思うがどうか。

町長 現段階では農業については、事業の対象とならないと認識している。

川口 この事業は、化学肥料の使用量2割低減に向けて、国が示す取り組みメニューのうち2つ以上行うことが支援対象となっているが、取り組み支援をどう考えているか。

町長 国からは15のメニューが示されており何をとり組めば指標をクリアできるのか、町農業再生協議会で具体的なメニューを示し、その中で選択

いただきたい。
全ての農家が2つ以上をクリアし、この制度を活用していただきたい。

川口 化学肥料の代替対策も必要になると思われるがどうか。

町長 当然対策としては必要になると思う。
現在、活用事例として畜産農家から発生する堆肥を飼料用稲の圃場に投入している。

耕畜連携を拡大していくことも重要である。

堆肥を有効利用することにより、化学肥料を減らしていくことにつなげたい。

川口 今後ますます価格高騰が続くようであれば、町独自の高騰対策支援策も必要と考えるがどうか。

町長 国の高騰対策については、上昇分の7割を補填、県においても1割を補填、現段階では残りの2割を農家の負担となっている。

引き続き町内における営農を継続していただく

ために、議会とも相談しできる限りの支援を考えたい。

その他の質問
災害時における備蓄品の充実について



(このQRコードから動画がご覧いただけます。)

支援が必要な児童・生徒の対応は
吉田 保雄議員

さらなる支援体制を検討したい
長戸町長



吉田保雄議員

吉田 教育の町として、いろいろな施策を遂行しているが、「学校が楽しいと思う」児童・生徒の割合はどのような状況か。

大西教育長 3年度は、小学校66・2%、中学校80・3%となっている。

また、4年度は、小学校83・9%となっている。
吉田 29年度から3年度の不登校児童・生徒はどのような状況か。

教育長 年間30日以上欠席の生徒を、不登校児童・生徒としている。
29年度から3年度の期間、小学校で0人・2

学力向上にスクールバスの有効活用を
吉田 保雄議員

取り組みは難しい
大西教育長

吉田 全国学力テストの結果は、どのような状況か。

教育長 町の結果は、4年度では、国語で1ポイント、算数で3ポイント、県平均を上回っている。



毎日登下校に活躍するスクールバス（岩美南小学校）

同時に実施された理科は、2ポイント下回っている。

吉田 岩美北、南の二つの小学校は、スクールバスでの通学を実施している。

掛け算九九やABCの歌などのBGMを流して

乗車時間を有効活用してはどうか。

教育長 スクールバスを利用しての児童と徒歩通学の生徒の違いや、安全上の問題も考えられ、取り組みは難しい。

災害時の給水体制は
吉田 保雄議員

備蓄・応援協定など給水体制を整えている
長戸町長

吉田 鳥取大震災から80年、災害時の備えが必要と感じる。

町の「災害時の給水体制」はどのような状況か。

町長 災害時の飲料水及び生活用水については、一、1452ℓ（約484人分）を確保

- 二、給水車による支援の協定済
- 三、災害時に無償での井戸水利用の契約
- 四、恩志水源の耐震化と非常用電源の完備
- 五、道の駅・国交省備

蓄・飲料水2トンなど、体制を整えている。

とは言え、災害の種類は予測できないので、各家庭において、3日分程度の食料、飲料水、非常用の持ち出しの備えをしておくよう心掛けて欲しい。



(このQRコードから動画をご覧いただけます。)

多様な障がい者の意志疎通支援の課題は

森田 洋子議員

個々のニーズに応じた支援が大事

長戸町長



森田洋子議員

森田 12月3日～9日は障害者週間である。広く障がい者の福祉についての関心と理解を深め、障がい者の方があらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的とした週間だ。障がい者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法が施行されたが、法律に明記されている地方自治体の責務とは何か。

町長 基本理念にのっとり、地域の実情を踏まえ、障がい者の方への情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策を策定し、及び実施する責務を有す

ると規定されている。

森田 地域生活支援事業の一つとして意思疎通支

援を行っているが、どのような支援なのか。

町長 聴覚障がいの方で、手帳を受けられた方や福祉関係、ボランティア団体などから申込みをいただく中で、病院受診、講演会出席などに、手話通訳、要約筆記をされる方を派遣している。また、奇数月の15日に

視覚障がい者相談支援員、町の障がい者相談員の方が相談会を開催している。

森田 意志疎通支援として、どのような課題があると考えるか。

町長 個人個人、障がいの程度が全て違う。今どついたツールが

できているのか、障がい者の方がどういったニーズを持っているのかを把握し、支援することが大事と考える。

森田 指さして伝えるコミュニケーション支援ボードを設置してほしいとの声を聞いている。町内の店舗での活用も併せて取り組んではどうか。

町長 役場の窓口を設置したい。町内各店舗の設置では、商工会や観光協会と連携し活用を進めたい。

子育て支援に対する思いは

森田 洋子議員

人口が増え維持できる取り組みが大切

長戸町長

森田 公明党は本年、少子化、人口減少の克服に向けた具体策として、結婚・妊娠・出産から子どもが社会に巣立つまで切れ目のない支援策、子ども応援トータルプランを発表した。

子育て支援に対する町長の思いは。

町長 出生数が増え、町の人口が増え、維持できる取り組みが大切と考える。

森田 直近5年間の出生数は、60人から80人の間を行ったり来たりの現状だ。

この結果をどう捉えているのか。

もらい、本町で生まれ育つ方が、そのまま子育てできる環境を整えていくことが重要と捉えている。

森田 出産・子育て応援交付事業の内容は。

町長 妊娠届出時に5万円、出産届出時に5万円、合計10万円の給付である。

森田 本町における伴走型相談支援、経済支援の取り組みはどうか。

町長 保健師、助産師の相談体制は整っている。子ども一人につき1万円の出産祝金など独自の施策にも取り組んでいる。

町長 子どもを産み育てていただける年代の方が少ない。子育て世代に移住して



質問後に設置されたコミュニケーション支援ボードを活用（福祉課窓口）



(このQRコードから動画をご覧いただけます。)

子どものワクチン接種は慎重に
升井 祐子議員

保護者の同意のもと行っている
長戸町長



升井祐子議員

升井 4年9月6日から5歳から11歳に対する3回目コロナワクチン接種を開始。

乳幼児、生後6か月から4歳までの実施の体制も整えている。

しかし、安全性の不安と副反応問題もある。本町の5歳から11歳の年齢別の接種率と人数、副反応の状況は。

町長 12月1日現在、2回目の接種を終えた方30・3%、166名。

3回目の接種済みは11・5%、63名。重篤な副反応はない。

升井 手の痺れ、急性心

町長 未接種者より3回目接種済みの陽性が4割少ないというデータもある。

ワクチンの効果や副反応のリーフレットや説明書を接種券に同封。

判断は住民の皆様委ねている。

升井 行政からの接種券一斉送付は、周りからの

子どもがマスクを外せる環境の構築を
升井 祐子議員

体調や状況に配慮し、指導している
大西教育長

升井 マスクの着用は不衛生かつ、健康観察がしにくい。子どもの感染者数は少なく、感染しても無症状が軽症が圧倒的に多く、重症例は少ない。

子どものマスク着用についてはどうか。

町長 感染の収束が見えない中においては、着用やむを得ない。

升井 保育所、小・中学校の現場の反応はどうか。

同調圧力がかかりやすい。コロナワクチンは臨床実験中で、せめて5歳から11歳、乳幼児の接種は申請制にしてはどうか。

町長 医師の説明、本人保護者の同意があって行っていることを理解いただきたい。

町長 保育所では発達状況や体調、保護者の希望で対応している。一律に着用は求めているない。

教育長 児童・生徒は、抵抗感はほぼないが、違和感があり、外したい、逆に外したくないの両方がある。

教員は、授業やコミュニケーションには、外すのが望ましいが、感染拡大を防ぐためには着用は致し方ない。



黙食する子どもたち (岩美北小学校)

升井 日本海新聞によると、いじめ不登校が過去最多の原因として、学校給食の黙食を上げられている。

自由な時間が奪われ、過剰なストレスから、そのはけ口がはじめになっ

ているのではという分析があった。マスク着用の臨機応変な対応ができるよう指導されてはどうか。

町長 保育所は、無理には着用せずに外せるときは外していくという形で対応している。

教育長 児童・生徒の健康や心情に配慮しながら指導や声かけをしていく。



(このQRコードから動画をご覧いただけます。)

物価高から町民を守る財源はある

田中 克美議員

財源はあるが優先度に応じて使う



田中克美議員

必要な世帯には現行制度で支援している。

田中 現行支援制度でどれだけ捕捉しているか。

町長 学校などで対応することで、必要な支援は行っていると認識している。

田中 物価高騰から町民を守るための緊急対策に取り組むことを求める。
①は、小中学校の給食費、副教材費などの無償化。
必要経費は、給食費4000万円余、副教材費1050万円余、修学旅行費250万円余。

これらは町財政でやりくりできる。

12月補正後の繰越金1880万円、昨年度末の財政調整基金10億7000万円。

財政調整基金は、一般に適正とされる額より2億余り4億円余も多い。

町長 給食費も副教材費も無償化は考えていない。

けられる。

例えば、一般会計予算のうち、使わなかった金が、直近7年のうち6年は1億円を超え、財政調整基金と翌年度の繰越金となっている。この健全財政のもとで緊急対応を検討してほしい。

町長 町財政は健全であると思う。ただ、提案をやるかどうかは、施策の優先順位だと思う。新年度に向けて議会と相談したい。

田中 優先度は高い位置づけにある。

扶養照会をやめ、生活保護を利用しやすくしている
町長 同意のうえで照会している

田中 ②は、生活保護を利用しやすくするために扶養照会をやめること。

町長 申請者と扶養照会者双方の同意があつて初めて照会する。
扶養照会の目的は、保護費決定と口頃の見守り支援のためだ。

田中 見守りは将来の自立に大事だとは思いますが、扶養義務者の見守りと経



盛り付けは自分たちで - これも食育

済支援は、違う問題だ。二つは区別して考えるべきだ。

さらに、自動車を持つていてはダメだという認識があるのではないか。しかし、車は自立のために必要なものの一つだ。

コロナ禍での保護決定の留意事項という厚労省の連絡を弾力的に運用してほしい。

町長 現在受給世帯に車の保有者はいないが、生活実態に合った形で判断している。

国保加入者の窓口負担軽減制度を使いやすく

町長 分納する人には運用する

田中 ③は、町が制定した国保加入者の窓口負担を減免する要綱を利用しやすくすること。
要綱が町ホームページに掲載されていない。保険滞納者は利用できないことになっている。

利用しやすく改めよ。

町長 質問通告を受け、ホームページは見やすい

ように修正した。滞納があっても分納誓約を誠実に実施している方には運用する。

子どもの貧困の実態調査を

町長 5年度に調査を実施する

田中 ④は、子どもの貧困の実態を把握しきめ細かな施策を進めること。
調査は国や他自治体の方法や項目を研究してほしい。

町長 5年度には子ども・子育て支援事業計画の2期計画に向けてアンケートを予定している。
先行事例を研究し、貧困の実態を把握できる項目でやりたい。

その他の質問

因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏について



(このQRコードから動画をご覧いただけます。)

「二十歳のつどい」

実行委員に聞きました

1月8日、「令和5年岩美町二十歳のつどい」が、71名の出席のもと、挙行されました。



「二十歳のつどい」実行委員会の皆さん



岩崎 眞春さん
(大岩地区)

僕にとって「二十歳」は大きな成長の年だと思っています。成人は18歳からになりましたが、高校を卒業して2年間、社会人として生活することで大人という存在が如何に大きな存在か知りました。二十歳になった今、次の世代に「あんな大人になりたい」と思ってもらえる人になりたいです。



谷口 耀さん
(大岩地区)

僕の将来の夢は、仕事でお金を稼いで家族を支えられる男になることです。今、引越業でいい稼ぎをしているので、この調子で頑張りたいと思います。



竹本 直斗さん
(岩井地区)

私が実行委員になった理由は、現在も岩美町に住んでいるというちょっとした責任感でした。実行委員として動いていた時間はとても楽しく、充実感が得られるものでした。式当日も出席者が楽しそうにしている姿を見て、実行委員をしてよかったと感じました。



中島 美紀さん
(岩井地区)

自分の成人式を自分たちで準備して、つくりあげることができてとてもうれしく思います。自分の夢である教育系の仕事に就けるように大学でもっと経験と知識を身につけたいです。



中島 成美さん
(岩井地区)

私は現在、看護学校に通っており将来的には東部地区の病院で岩美町の方々を含め多くの方々の健康を守り、一人ひとりに寄り添える看護師になりたいと考えています。今年是最終学年で実習の日々となり、様々なことに苦しみ1年になると思いますが、ひとつでも多くのことを学べるように頑張っていきます！



中村 尊哉さん
(網代地区)

私は今、岡山の大学に通っており、化学について勉強しています。将来的には理科の教員や化学系研究といった化学に関する職につきたいと考えています。今まで岩美町の沢山の方々にお世話になった分、多くの方々の役に立てるような社会人を目指し、精進してまいります。



中村 勇斗さん
(大岩地区)

私は、岩美町に住む人が大好きです。小学生の頃、自転車でこけてけがをしてしまった時に近所のおじちゃんが私を慰めながら家まで送ってくれました。これまでたくさん助けてもらったやさしさを引き継いで、今度は私が次世代につないでいきたいと思っています！



毛利 芽美さん
(大岩地区)

私が岩美町で好きなところは人が温かいところです。小・中学生の登下校時に歩いていると、すれ違う方々が挨拶してくださったり声を掛けていただいで安心して通うことができました。これからはお世話になった方々に恩返しできるように励んでいきたいです。

※出身地区を記載しています。

議会だより調査特別委員会委員

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議長
升井	森田	吉田	田中	柳	田中	寺垣	橋本	足立
祐子	洋子	保雄	伸吾	正敏	克美	智章	恒	義明

〔発行責任者〕

編集後記

令和5年の干支は「癸(みずの)」「うさぎ年」です。うさぎは飛び跳ねることから何かを開始するのに縁起がよく、希望があふれ、景気回復、好転するよい年になると言われています。また、うさぎは繁殖力が強いことから「子孫繁栄」や「安産」にもつながります。

今年一年、町民皆さまがご健康で活躍されることをお祈りするとともに、少子化解消の端緒の年となることを祈念いたします。

本年も、開かれた議会をめざす岩美町議会に叱咤激励いただきますよう、よろしくお願いいたします。

橋本 恒